

文化きらめくまちづくり

就学前教育、学校教育、社会教育の充実を目指して



核家族化の進行や少子高齢化は、地域社会が抱える大きな問題の一つ。これにより子ども同士の遊び、高齢者や地域の方とのふれあい、自然体験や物づくり体験など、人との関わりの中の「学び」の機会が減っています。また、「子育ては地域みんなで」「助け合い」などの風潮が薄れていることは否めず、この地域力の低下が様々な方面に影響を及ぼす可能性もあります。そこで、まずは地域を担う子どもたちが生き生きと育つよう、家庭や地域での幼児教育の充実に向けた支援を行い、同時に就学前教育の充実を図るべく、子育て情報の発信や楽しい学習機会の充実に努めていきます。また、親同士のつながりを生み出す機会、地域全体で子どもを見守り育てる機運の醸成、子育てサークルの支援など、市民のまちづくりの方向性も明確にしていく考えです。

学校教育においては、学ぶ意欲や学力の向上を重視し、子どもたちの「生きる力」を育むべく、心と体の両面から教育環境を見直していきます。

大洲の「ココ」が大好き! We love Ozu City

様々な文化が息づく大洲
太鼓がそのつなぎ役になれば

大洲隊龍太鼓保存会 山田千尋さん

隊龍山荘や大洲城、町並みなど大洲には素晴らしい歴史遺産があります。私たちの太鼓が、大洲の多様な文化のつなぎ役となって、多くの方に大洲の良さを知ってもらいたいですね。



あわせて安全で快適な教育環境の整備にも取り組んでいます。

これらの取り組みに加えて、市民一人ひとりが生涯にわたって新しい知識や文化にふれ、心豊かな充実した生活ができるように、文化やスポーツ活動の活性化も含めた様々な支援を行っています。

今、子どもたちの「生きる力」を育むことは社会全体の課題。そのため、地域全体がひとつにまとまり、すべての市民が学び、連携することが大切です。

City planning that highlights culture
Enriching preschool education, school education, and adult education
Today, the need to foster vitality among children is a key issue for all of society. To that end, it is important for the community to join together so that all residents can learn and work together.

安心きらめくまちづくり

市民みんなの健康づくりと地域医療体制の充実を

誰もが望む健康で安心な暮らしを実現するため
まず大切なのは、市民一人ひとりの毎日を見直すこと。
大洲市ではソフトとハードの両面から、具体的な支援を行います。

City planning that highlights peace of mind
Fostering health for all residents and enriching the regional medical system
The first and most important step in assuring the ability of all residents to enjoy a healthy and safe life is for each and every resident to take a new look at his or her daily life. The city of Ozu is working to offer concrete support for this endeavor in the form of both infrastructure and services.



平成12年、高齢化社会の進展や生活習慣病の増加、子どもの食生活の乱れや体力の低下への対応のため、国では「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」を策定。さらに平成14年には健康増進法、平成17年には食育基本法を定めるなど、国全体で健康づくりを促進しています。こうした動きに呼応するべく、大洲市では平成16年に「あなたが城主！健康おおぞ（健康日本21大洲市版計画書）」を策定。「健康づくりはわたしが主役」をスローガンに、関係機関と連携しながら、健康づくりを進めてきました。こうした動きを一層活性化するために、それぞれのライフステージに合わせた健康教育や健康診査を行い、健康づくりを支援していきます。具体的には、子どもたちの食生活や運動状況の改善、妊婦や乳幼児の心身の健康維持のためのサポート、高齢者が自立した生活を行うための心身の健康づくり教室など、各世代での課題の解消に取り組んでいきます。

このほか、各地域の「かかりつけ医」による初期医療の充実を図りつつ、質の高い医療サービスの提供や救急医療体制を強化。福祉面では特に子どもや高齢者、障がい者が暮らしやすい「ユニバーサルデザイン」のまちづくりを進めていきます。また行政だけでなく、市民や事業者の協力も募っていきます。

大洲の「ココ」が大好き! We love Ozu City

人生に目標を与えてくれたのは
幼い頃、肱川で泳いだ経験

ジャパンパラリンピック出場者
(大洲南中学校教諭) 佐相和希さん

足が不自由になった時、幼い頃に肱川で泳いだことを思い出し、あらためて水泳を始めました。今後はアスリートとしてさらに挑戦し、指導者としても大洲に恩返ししたいです。

